安寿（あんじゅ）

住宅用連続手すり ベース材（補強板） W75シリーズ W120シリーズ 施工説明書

正しく取り付けていただくため、施工前にこの施工説明書を必ずお読みください。

別冊「施工要領書」に記載の「取扱説明書（お客様用）」をコピーしていただくか、下記ホームページアドレスから「取扱説明書（お客様用）」をダウンロードしていただき、取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明のうえ、「取扱説明書（お客様用）」を必ずお渡しください。

ホームページアドレス　http://www3.aronkasei.co.jp/anjyu/

安全上のご注意 （必ずお守りください）

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。
⚠注意	誤った取り扱いをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。（下記は絵表示の例です）

  してはいけない「禁止」内容を説明しています。

⚠警告

絶対に分解・修理・改造をしないこと
破損してけがの原因になります。

取り付けは必ず指定寸法に従うこと
手すりが破損し、けがの原因になります。

必ず十分強度のある壁・建築構造体に取り付け、ねじが12mm以上ねじ込まれていること
取り付けが不安定になり、けがの原因になります。

⚠注意

丸棒・部材（ブラケット）・ベース材は当社品を使用すること
取り付けが不安定になり、けがの原因になります。

取り付けは必ず専門業者が行うこと
取り付けが不安定になり、けがの原因になります。

取り付けは必ず適切な下穴をあけてからねじ固定すること
取り付けが不安定になり、けがの原因になります。

ねじ固定はかえりなどが出ないように行うこと
けがの原因になります。

開き戸付近に取り付ける場合は開閉するドアが手にあたらない位置に取り付けること
けがの原因になります。

柱に取り付ける場合は断面寸法が30×30mm以上の柱に固定し、柱と固定ねじの中心のずれは5mm以内とすること
取り付けが不安定になり、けがの原因になります。

取り付け完了後、手すりにガタツキがないか確認すること
ガタツキがある場合、製品が外れたり破損してけがの原因になります。

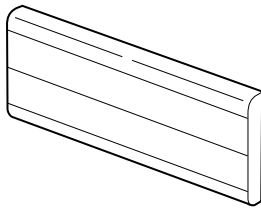
補強板（ベース材）は別売りの「ベース材用ビスセット（50本入）」を必ず使用し、確実に固定すること
取り付けが不安定になり、けがの原因になります。

屋外や浴室内など水がかかったり湿気の多い場所や水没する場所には設置しないこと
下地および商品を濡らさないこと
腐食・劣化し、製品が外れたり破損してけがの原因になります。

直接熱をかけたり、熱器具の近くに取り付けないこと
火災や変形・破損の原因になります。

平らでない面には取り付けないこと
取り付けが不安定になり、けがの原因になります。

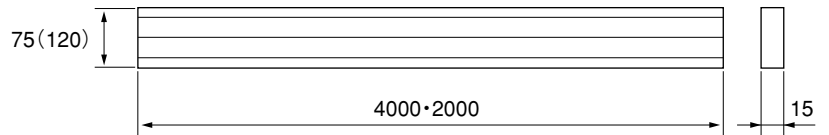
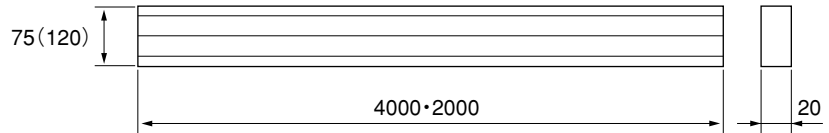
各部のなまえ・仕様

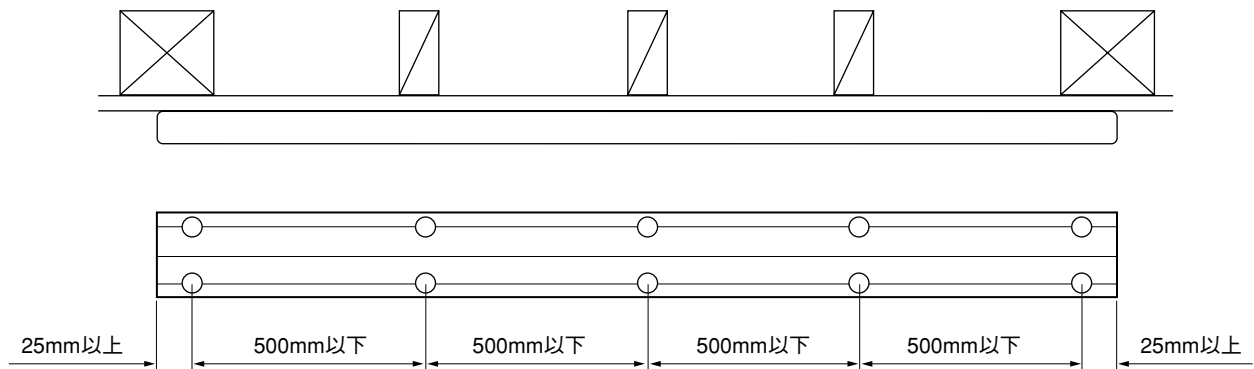
ベース材　1枚
（材質：天然木）

製品寸法（単位：mm）　図中の（　）寸法はW120

厚み15mmタイプ

75（120）
4000・2000
15

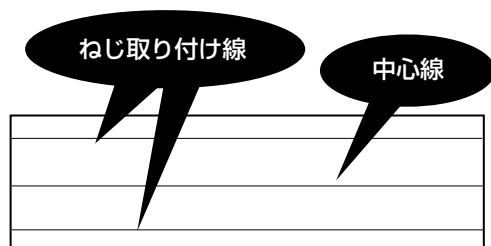
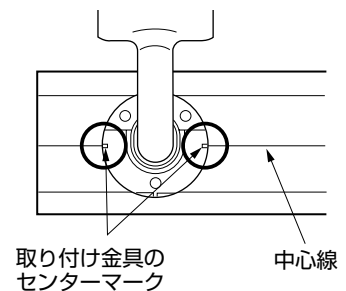
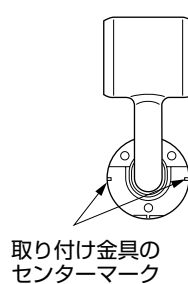
厚み20mmタイプ

75（120）
4000・2000
20

取り付けかた

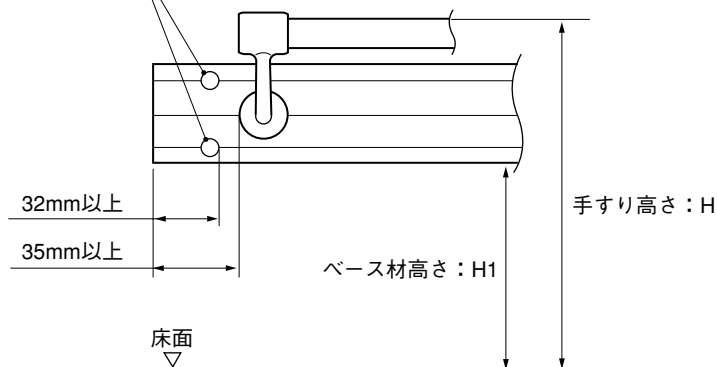
●取り付け指定寸法

⚠ 警告
取り付けは必ず指定寸法に従うこと
手すりが破損し、けがの原因になります。

ココがポイント

ベース材には

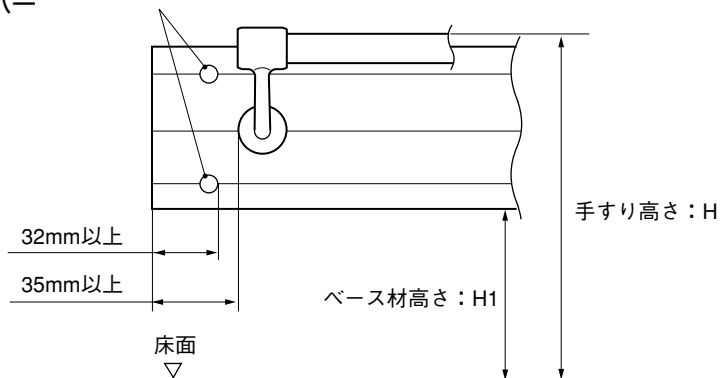
壁へ取り付けるための**「ねじ取り付け線」**と、
部材の位置を合わせるための**「中心線」**が
付いています。

※部材のセンターマークとベース材の中心線を合わせると、部材を水平に取り付けることができます。

取り付けかた

◇ベース材W75シリーズ

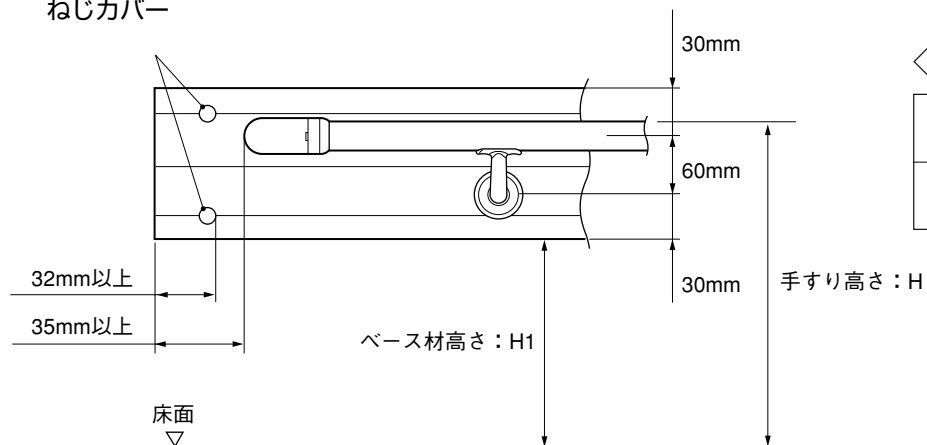
◇ベース材高さ：H1

丸棒φ35の場合	丸棒φ32の場合
H1=H－115mm	H1=H－113.5mm

◇ベース材W120シリーズ

①ベース材の中心線に部材を合わせて取り付ける場合

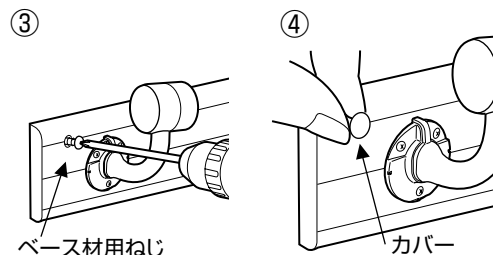
◇ベース材高さ：H1

丸棒φ35の場合	丸棒φ32の場合
H1=H－137.5mm	H1=H－136mm

②ベース材の中心線に関係なく部材を合わせて取り付ける場合

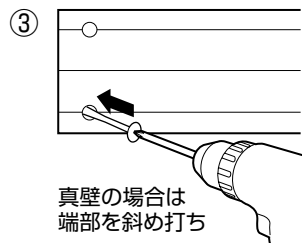
◇ベース材高さ：H1

丸棒φ35の場合	丸棒φ32の場合
H1=H－107.5mm	H1=H－106mm

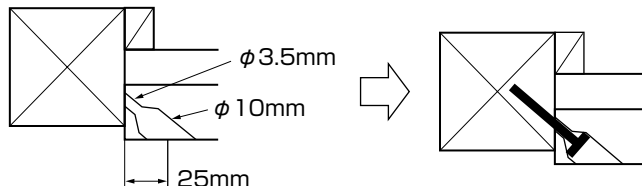
取り付けかた

■取り付け手順（ベース材を大壁に取り付ける場合）

①ベース材を取り付ける位置と設置長さを決めます。
②ベース材を切断します。
③ねじ固定する箇所に下穴を開け、「ベース材用ビスセット（別売）を
　使用して柱に固定してください。
④「ベース材用ビスセット（別売）」のねじ頭に付属のカバーをかぶせてください。

■取り付け手順（ベース材を真壁に取り付ける場合）

①ベース材を取り付ける位置と設置長さを決めます。
②ベース材を切断します。
③ねじ固定する箇所に下穴を開け、「ベース材用ビスセット（別売）を
　使用して柱に固定してください。
　※ベース材の端部は、ねじが柱にとどくように斜めに下穴を開けてください。

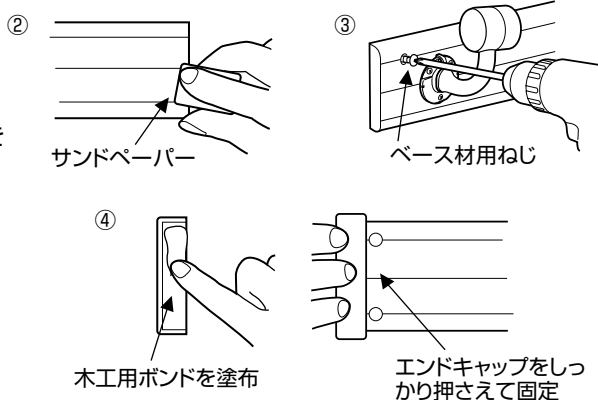
③
真壁の場合は
端部を斜め打ち

◇真壁の端部の下穴設定

端部の下穴は、最初にφ3.5mmのドリルで穴をあけ、
ねじ頭を隠すため、φ10mmのドリルで、深さ約5mm
の穴をあけてください。

■取り付け手順（ベース材にベース材用エンドキャップを取り付ける場合）

①ベース材を取り付ける位置と設置長さを決めます。

壁・柱とベース材端部に隙間を
あけて取り付けてください。

②ベース材を切断しベース材の端部の塗装をサンドペーパーで
　剥がします。（端部から約8mm）

③ねじ固定する箇所に下穴を開け、「ベース材用ビスセット（別売）」を
　使用して柱に固定してください。
　※壁の仕様に合わせたベース材の固定方法を選択してください。
④エンドキャップの内側に市販の木工用ボンドを塗布し、
　ベース板に接着してください。
　※市販の木工用ボンドの取扱説明書をよく読み、
　　エンドキャップが十分固定されるまで、さわらないでください。

●製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります。

08.04

製品に関するご意見･お問い合わせは

お客様相談室

フリーダイヤル 0120-86-7735
（受付時間）祝祭日以外の月～金 9:00～17:00
（12:00～13:00はのぞく）

アロン化成株式会社
ライフサポート事業部
〒141-0022 東京都品川区東五反田1-22-1 五反田ANビル4階 TEL（03）5420-1556
FAX（03）5420-7750

東京営業グループ	☎(03)5420-1562	仙 台 支 店	☎(022)291-5477
大 阪 支 店	☎(06)6448-5127	広 島 支 店	☎(082)245-7100
名 古 屋 支 店	☎(052)203-0396	札 幌 営 業 所	☎(011)709-6011
福 岡 支 店	☎(092)741-1411		